

# たぐすい

TAKUSUI

9

2005年 September

No.587



(灘漁港より沼島を望む)

**News**

瀬戸内海を豊かな海にするために新法を!

ウチの漁協!

JF別府町



# CONTENTS

2 旬に想う  
無農薬農業&アレロパシー  
表紙の言葉

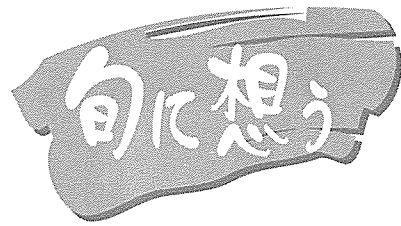
3 News  
瀬戸内海を豊かな海にするために新法を!

4 Topics  
一県一信用事業統合体完成に向けて  
兵庫県漁協青壮年女性のつとめ開催

6 兵庫JCC通信

7 行事予定  
お知らせ

8 ウチの漁協  
JF別府町



写真と文 遊方子

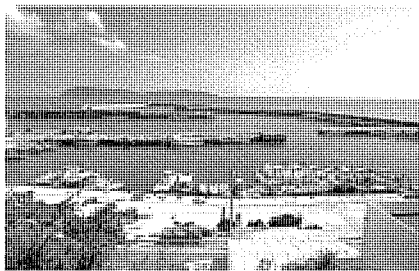


## 無農薬農業&アレロパシー

◆秋分の頃、畦道や小川の土手を赤く染めるようにヒガンバナが咲く。墓地の周辺にも多い所から(死人花)や(葬式花)などの里呼び名があるが、かつては埋葬方式が土葬のため、獣が掘り返すのを防ぐ意味から毒のあるヒガンバナを植えたい。今は火葬に変わって、その心配は全くない。稲作の伝来に伴い救荒作物として大陸から渡って来たという。球根に含まれる毒は水溶性で、水によく晒して食用に供した。有毒植物を食べるとは思い切った発想だが、この毒がモグラ撃退に役立つと聞いて菜園の畦へ一列に植えた。ミミズを探して土中を掘り進むため野菜の害は計りに知れず、抑止できればありがたい。球根の毒素によるアレロパシー効果という。(他感作用)と訳されている。

◆農用殺虫剤は、数滴で人も殺す劇毒物である。中国産ホウレンソウから有機リン系薬品が検出されたり、学校給食パンの残留農薬が問題になったり、農薬に対する恐怖心を煽る報道が続いたが、これらは収穫後の害虫防除に使われたものである。食品の安全性は重要で、有毒物は使わぬに越したことはない。休耕田を借りて始めた家庭菜園では、無農薬栽培を実践してみたが、その結果、良い作物にするためには、農薬無しでは難しい事が判った。キャベツは紋白蝶の猛攻に穴だらけ、大根や白菜も虫に食われて無残な姿になる。この克服には、薬品の手を借りるしか方法が無いように思える。

## 表紙の言葉



南淡路市灘漁港より沼島を望むワンショット

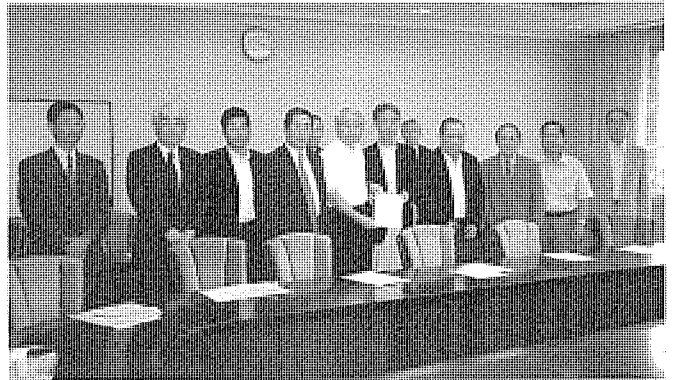
沼島の歴史といえば、現在、NHKの大河ドラマ「義経」において中尾 彬氏演じる梶原景時率いる梶原一族と沼島水軍が思い浮かぶ。1180年当時、平氏方武将であった梶原景時は、源氏との石橋山の合戦において鶴(しとど)の岩屋と呼ばれる洞穴で隠れていた源 頼朝を見つけるが討ち取らず逃がしてやり、後に源氏につき活躍をした人物と言えば皆さんも思い浮かばれるのではないのでしょうか。景時は頼朝の死後、鎌倉から追放され、京都への途についたが1200年1月北条氏により全滅させられる。その後、一族は離散し、景時滅亡の年に沼島の城主になっている。その関係が否か、今も景時の墓と伝えられている。供養塔が沼島神宮寺の墓地内にある。

にマリーゴールドが花盛りだそう。マリーゴールドの持つ成分が、ダイコンの根を害するネマトード(根瘤腺虫)を寄せつけぬ働きをするという。大根を植え付けの敵へ働き込んで農薬代わりとする。これもアレロパシー効果で、きれいな大根になるそう。昨年の夏、ナスを植える時に側にマリーゴールドを植えてみた。その効果なのか遅くまで秋ナスが楽しめて、アレロパシー様様と思つたものだ。今年も同様に仕立てている。ハーブのミント類が虫を寄せぬと聞き周辺へ植えたり、ホームページで「無農薬農業」のレシピを手に入れ、トウガラシ主体の茶色の液体も作って使う。どんな効果が得られるだろう。実績は未だ無い。

◆日本人はサクラを好み国花として愛でるが、その香りは非常に淡い。中国の国花は香り高いリンデ、国民は匂いこそ花だとして尊ぶという。これは国民的な体質の差とみるべき事だろう。香りの高いものは、鼻をつまんでいても必ず漏れ匂うものである。そうして強い薫りは、いつか多くの人々に取り入れられる。ある社会史研究家が、中国の歴史政権の性格を表現し「干渉的国家」と言っている。人民への有無を言わさぬ教化や干渉は、香り高い花を好み国民性に共通するものがある。知らず知らずのうちに、心をも染めて仕舞うという言葉が、匂いによる教化は教育の理想かも知れない。アレロパシー効果と言えそうだし。

# 瀬戸内海を豊かな海にするために新法を!

JF兵庫漁連丸一会長を代表幹事に、11府県漁連会長ら、  
瀬戸内海環境保全知事市長会議議長・井戸敏三兵庫県知事に要請実施



井戸兵庫県知事へ要望書を手渡される丸一県漁連会長

去る8月22日、神戸市において瀬戸内海関係漁連連絡会議会長会議が開催され、漁業者の視点から新法に盛りこむべき要望事項の取りまとめを行った。また、会議の後、要望事項の実現を求め、瀬戸内海環境保全知事市長会議議長・井戸兵庫県知事に要請活動を実施しました。

この連絡会議は、瀬戸内法が制定されて30年を経過し、水質規制の強化等で赤潮発生が減少するなどきれいな海となった。しかし、漁業者からみれば現在の海は生態系に快適な環境とは言い難く、水産資源等の豊かな海に再生するために新たな法整備

が必要だとの認識で、JF兵庫漁連・丸一会長の提案で昨年8月に設置されたものです。

会長会議では、昨年来、瀬戸内海の再生方策に関して、各漁連から出された意見や学識者の提案等を事務局を務めるJF兵庫漁連で項目整理し「要望事項」としてまとめ、これが全体方向として決定された。また、この会議で取りまとめられた要望内容が、新法のなかにしっかりと盛り込まれるよう瀬戸内海環境保全知事市長会議に要請するため、丸一芳訓代表幹事をはじめ、副幹事のJF香川漁連・服部会長ら各漁連代表者が井戸知事に面談した。

井戸知事は瀬戸内海環境保全知事市長会議の代表として「各漁連の要望活動は心強い。ともに目的達成に向けて頑張つてゆこう」と、各漁連代表者の労をねぎらった。

今回の要望内容は、

- ① 瀬戸内海を森・川・海を1つのユニットとして法整備を図ること。
- ② 有明法を例として、環境の保全と改善、水産資源の回復等による漁業振興を法律に位置付けることや、国が環境構造の解明と改善、藻場・干潟の保全と再生など根本的な方策を講じること。
- ③ 漂流・漂着・海底堆積ゴミの処理ルール化を図ること。

④ 漁業被害の発生防止・救済措置を講じること。

⑤ 開発規制強化や構造物の自然回帰方策を講じること。

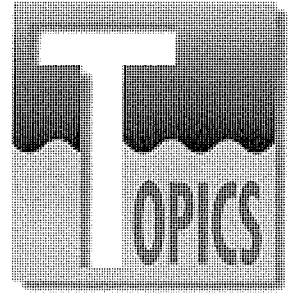
⑥ 森・川行政に海域漁業者の意見が反映される仕組みづくりを行うこと。

…など、漁業者の視点から見た施策や方向性を提議している。

連絡会議では、今後は瀬戸内海環境保全知事市長会議と連携しながら、新法制定に向けて、政府・国会に様々な形で、要請行動を展開することとしている。



瀬戸内海地区11府県漁連会長による会議風景



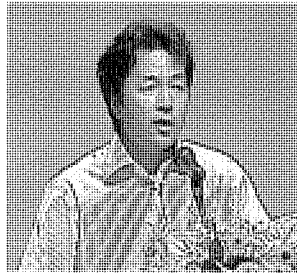
# 平成17年度 兵庫県漁協青壮年女性のつどい開催

## ～主催者挨拶～



森 県女性連会長

漁協青壮年部による「マ



片山 県漁青連会長

今年の実績発表は、播磨地区の室津漁協女性部による「魚食普及活動から魚魚市（とといち）の取り組み」と淡路地区の東由良町漁協青壮年

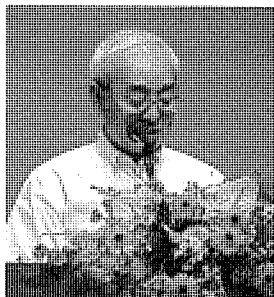
去る、8月27日（土）明石市民会館（アワーズホール）中ホールにおいて「平成17年度兵庫県漁協青壮年女性のつどい」が開催されました。  
本大会は兵庫県漁協青壮年部連合会と兵庫県漁協女性部連合会が主催となり2年に1度、県下漁協青壮年部及び女性部部員の交流と日頃の活動成果（実績発表）を発表する場として催されており、  
大会前半は、喜多氏（県漁青連副会長）の司会によりプログラムどおりに順調に進められました。

コガレイ受精卵放流の試み」の2グループが行いました。また、この2グループは、来年3月に東京で開催される「JF全漁連主催の「全国青年女性漁業者交流大会」において兵庫県代表として参加することとなっております。これに向け、当日に頂いた学識経験者の方々からのコメント（アドバイス）を参考に残り数ヶ月間で更にすばらしい発表内容となるよう検討を行うこととしています。  
大会後半は、木下氏（県漁青連副会長）、井上氏（県女性連副会長）のご両人の司会により、寸劇あり、カラオケあり、踊りありの楽しいアトラクションが行われ、その後、参加者全員を対象とした大漁くじを行い、会場内の盛り上がりは、ピークとなりました。  
大漁クジ終了後、後藤氏（県女性連副会長）の閉会の挨拶により大会は盛會裡に終了致しました。

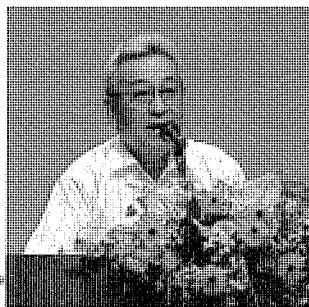


海の子作文の朗読

## ～来賓者祝辞～



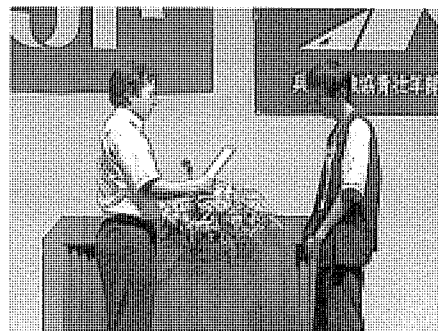
丸一 県漁連（戸田専務代読）



吉野 信漁連会長



楠本 水産課長



新規漁業就業者の激励



アトラクション



## 一県一信用事業統合体完成に向けて

### 兵庫県信用漁業協同組合連合会

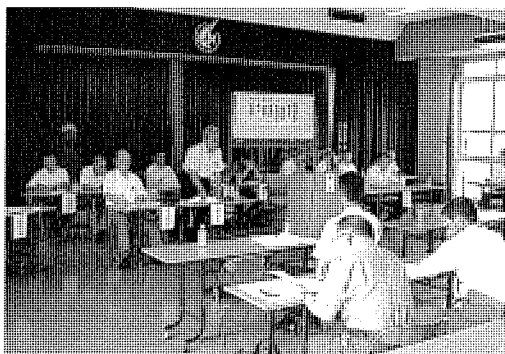
JFマリンバンク兵庫信漁連では、去る8月17日に開催した臨時総会において、平成17年12月1日付でJF坊勢とJF福良の信用事業を譲受することを議決し、これをもって一県一信用事業統合体完成の最終事務手続に入りました。

本県の漁業系統金融におきましては、迫り来る金融自由化の波の中、平成7年度より「兵庫県漁業信用事業組織強化方策」に基づき、信用事業の統合について本格的に論議を開始いたしました。

そして、平成9年10月に明石浦支店が統合第1号店としてオープンし、以来、会員のみなさまのご理解とご協力の下、順次統合を進めてまいったところであります。

一方全国におきましては、現在、農林中央金庫を中心に「JFマリンバンク基本方針」として本年12月をその期限に「一県一信用事業責任体制」を構築することとなっており、各県域においても鋭意取り組みを進めているところであります。

今般、JF坊勢・JF福良の信用事業を譲受けることにより、本県における信用事業統合を完成することとなりますが、今後におきましては、さらに安全で安心な経営態勢を目指し、会員及び組合員のみなさまの負託に真に応え得る組織を構築するべく、役職員一丸となって努力いたしますので、一層のご協力をお願いいたします。



臨時総会風景

## JA兵庫みらい農産物直売所 『かさい愛菜館』オープン!



開店と同時に多くの人でにぎわう店内

JA兵庫みらいの3店目の農産物直売所『かさい愛菜館』が6月22日に竣工式を終え、25日、加西市玉野町にオープンした。

オープン当日は、同JA塚原貞美専務、農産物直売所運営協議会・小谷せい子会長、井上悦夫理事、平田稔郎理事によるテープカットが行われ、10時のオープンには、地元農家が栽培した野菜や花、加工品など約70品目や、地元産米「ヒノヒカリ」の量り売りコーナーが設置された店内に、とれたての新鮮野菜を求めようと多くの来店者が詰めかけた。

7名で構成される同運営協議会の会長を務める小谷せい子さんは「加西の自然の恵みと愛情いっぱいの農産物であふれる店にしたい。元気で誠実な農産物を届け、生産者と消費者の架け橋になれば」と意気込みを強く語った。

「あんしん果菜の拠点 私たちは真心をこめて作っています」をモットーに掲げる『かさい愛菜館』は、農家や加工グループなど生産者ら110名が安全安心の農産物を消費者に提供していく。

営業時間：午前10時～午後5時  
定休日：毎週火曜日  
問い合わせ先：0790-47-8700

<http://www.zenchu-ja.org/>

## ピースアクション in ヒロシマ 「虹のひろば」に参加

今年も、日本生協連と広島県生協連とが主催する「2005虹のひろば」(8月5日)に兵庫県生協連の会員生協から34名(コープこうべ5名、阪神医療生協5名、尼崎医療生協9名、姫路医療生協14名、兵庫県生協連1名)が参加しました。

8月5日(金)に広島県立総合体育館・グリーンアリーナで行なわれた「2005虹のひろば」は、「虹のステージ」と「みんなのひろば」の2部構成で行われ、第一部の「虹のステージ」では、広島の小中学生3人の「戦争のない平和な世界をつくろう」との開会宣言の後、主催者を代表して小倉修悟・日本生協連会長が挨拶。続いて、参加者全員の黙祷のあと、秋葉忠利広島市長のメッセージが紹介されました。次に、広島市の隣市である廿日市の山下三郎市長が自らの被爆体験を語られました。「虹のステージ」のラストは「虹のひろば合唱団」による、「ピースアクションinヒロシマ」のテーマソング「にじいろの未来(ゆめ)」の大合唱で締めくくられました。

第二部の「みんなのひろば」では、会場いっぱいに展示コーナーが設けられ、たくさん子どもたちが展示を見たり、体験コーナーで折鶴をつくらったり、オリジナルの缶バッジを作ったりしました。出展ブースでは、「ピースアクション2005inひょうご」として当連合会の実行委員会も出展し、この夏、取り組んだ「ピースメッセージ」や折鶴、うちわなどを展示、また7月7日～16日までに集中的に取り組んだ「ピースリレー」の様子や「平和のつどい」の様子なども展示しました。



ピースアクション2005兵庫県実行委員会の出展ブース前で

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>





行事予定

<変更になる場合があります>

**JF兵庫漁連**

9月 14日(水)	13:00~ 第5回共通職員制検討会 (小会議室)
20日(火)	採苗開始
22日(木)	13:30~ 全漁連理事会
29日(木)	13:00~ 第10回理事会(中会議室)
30日(金)	職員採用試験

**JF兵庫信漁連**

9月 14日(水)	13:00~ 第5回共通職員制検討会 (小会議室)
22日(木)	13:30~ 全漁連理事会
27日(火)	13:00~ 理事会(中会議室)
30日(金)	東海・北陸・近畿 ブロック会議(静岡)

**JFぎよさい兵庫**

9月 14日(水)	13:00~ 第5回共通職員制検討会 (小会議室)
10月 17日(月)	13:30~ 監査会(共済組合会議室)

**JF共水連兵庫**

9月 15日(木) ~16日(金)	15:00~ 農水研関西地区研修会 (白浜)
-------------------------	------------------------------

**内海漁保**

9月 15日(木) ~16日(金)	ブロック漁船保険組合 引受事務研修会 (香川県)
-------------------------	--------------------------------

**但馬漁保**

9月 21日(水)	全国漁保合併勉強会(東京)
10月5日(水) ~6日(木)	山陰・北陸ブロック会議 (福井)

**振興基金**

9月 21日(水)	13:30~ 理事会(中会議室)
--------------	---------------------

**兵庫県**

9月 16日(金)	10:30~ 常任委員会
21日(水)	13:00~ 但馬海区漁調委 (但馬漁業センター)
22日(木) ~10月 6日(月)	県会開会

**その他**

9月 12日(月)	13:30~ 兵庫県のり養殖安定対策 協議会総会(大会議室)
14日(水)	13:00~ 中国地区漁連会長会 (せとうち児島H)

総務課 **Tel 0796-36-1331 Fax 0796-36-1305**  
E-mail: kasumisomu@hgkasumi.jf-net.ne.jp

経理課 **Tel 0796-36-1331 Fax 0796-36-1305**  
E-mail: kasumikeiri@hgkasumi.jf-net.ne.jp

販売課 **Tel 0796-36-1333 Fax 0796-36-1311**  
E-mail: kasumihanbai@hgkasumi.jf-net.ne.jp

購買課 **Tel 0796-36-1813 Fax 0796-36-1815**  
E-mail: kasumikobai@hgkasumi.jf-net.ne.jp

直販課 **Tel 0796-36-4545 Fax 0796-36-1335**  
E-mail: yugyokan@hgkasumi.jf-net.ne.jp

製氷課 **Tel 0796-36-1814**  
E-mail: kasumiseihyo@hgkasumi.jf-net.ne.jp

冷蔵課 **Tel 0796-36-1812 Fax 0796-36-0640**  
E-mail: kasumireizo@hgkasumi.jf-net.ne.jp

鑑支所 **Tel 0796-34-0003 Fax 0796-34-0416**  
E-mail: yoroishisho@hgkasumi.jf-net.ne.jp

漁協本所 E-mail: kasumigyokyo@hgkasumi.jf-net.ne.jp  
(上記に属さないもの及び組合長・参事宛てはこちらへ)

**漁獲情報 Tel 0796-36-1332 (従来と変更ございません)**

**お知らせ**

8月28日よりダイヤルインになりました  
JF香住町の電話番号が

編集後記



台風とハリケーンの違いは?

ハリケーンと台風は、性質は全く同じである。北太平洋熱帯海域で発生した低気圧が強まったものが台風でありハリケーンであります。

名前はどこで変わるか?それは、日付変更線のある東経180度からアメリカ側はハリケーンで日本側が台風となっています。また、台風とハリケーンはどちらが強いのか?それは決めが

たいらしい。強さであるから最大風速で比較すれば良いのだが、最大風速の計り方に違いがあるからだ。日本では10分間の風速を平均したものの最大値が最大風速であるが、アメリカでは1分間の平均を使っている。10分間の平均値よりも、1分間平均値の方が当然大きくなる。したがって、最大風速が同じ値であれば、台風がハリケーンよりも強いことになる。これからも皆さん台風には十分注意しましょう。





別府町漁協の2本柱

# 伝統漁業と育てる漁業



## ウチの漁協!

No.29

### JF 別府町

播磨灘に面する加古川市別府町。かつては遠浅の海岸が広がり、春は潮干狩り、夏は海水浴を楽しむことができた海岸線は、

現在、埋め立て造成工事が進み、大きな工場が立ち並び工業地域としての色合いが濃くなっています。また別府港周辺は、近年「別府みなと緑地」というレクリエーションゾーンとしての整備が進み、遊歩道が整えられたほか、海について遊びながら学

ぶた鳴門海峡大橋・明石海峡大橋などの建設により潮の流れが変わったことなども一因と考えられますが、その他にもさまざまな原因が絡み合っていることは間違いありません。もちろん、漁獲量が落ちていない魚もありますが、サワラのように、今では幻の魚となってしまったものもあります。このような背景もあり、別府町漁業協同組合では、魚を増やし育てる漁業にも取り組んでいます。まず、5～6年前に始めたのがタコツボの投入です。

これは、台付きの大きなタコツボを産卵時期に合わせて漁場に投入することで、産卵場所を人工的に作り出し、タコを増やしていくというものです。これらの取り組みの成果もあってか、近年タコの漁獲量は安定しています。さらに、10年ほど前からチャ



レンジしたのが、ヒラメの養殖です。成長が早く高級魚という養殖の条件にピッタリのヒラメは、春に仕入れた稚魚が、正月には出荷

できる大きさにまで育ちます。シート製の水槽で泳ぐヒラメは、養殖期間の長さで4つのグループにサイズ分けされ、常に安定して出荷できるよう工夫されています。水槽の水はにごらないよう常に回転させ、病気の発生を防ぐため水温は20℃以下に保つなど、細心の管理のもとでヒラメはぐんぐん成長していきます。養殖を始めた当初は、一晩で水槽のヒラメのほとんどが死んでしまうといった苦い経験もありましたが、そのような貴重な経験が、現在のヒラメ養殖に活かされているのです。

さて、現在後継者不足が最大の課題である別府町漁業協同組合では、地元の中学校在職者が実施する「トライやる・ウィーク」に指導ボランティアとして参加しています。もしかしたら参加した子どもの中に、漁協の将来を担う「未来の組合員」がいるのかもしれないね。



加古川海洋文化センター

べる「加古川海洋文化センター」などの施設が新たに建設されるなど、地域のふれあいの場としての役割も強まっています。

この別府町で古くから行われている代表的な漁法といえばノリ養殖です。別府町漁業協同組合の漁場である播磨灘には、兵庫県唯一の河川「加古川」から栄養塩を豊富に含んだ水が流れ込みます。このような「地の利」を持つ別府で獲れるノリは色が黒く、栄養豊富で色落ちが少ないという特徴があります。海岸線がまだ遠浅だった頃は、杭を打って網を張る「支柱式」で行われていたノリ養殖は、埋め立てにより海岸から遠くなったことから「浮き流し式」に方法を変えて現在まで続いてきました。かつて手作業で行われていた作業工程のほとんどが機械化されたことで、水揚げ量は昔の約10倍以上。海の栄養たっぷりの高品質なノリが大量に生産されるようになったことで、私たちの食生活も豊かに変わってきたといえるでしょう。

このほかにも別府町漁業協同組合では、一本釣りで、タコ、スズキ、サバ、アジなど、建て網漁で、アイナメ、ガシラ、メバル、ヒラメ、キスなど、延縄漁ではアナゴといった魚を獲っています。一見魚種が豊富だと思われるかもしれませんが、魚の種類、数

ともに昔より減っているというのが実情です。埋め立てによって藻場が少なくなったこと、ま



### <漁協メモ>

別府町漁業協同組合  
代表理事組合長 川崎 十九男  
組合設立日：昭和24年11月14日  
組合員数：正組合員30名、准組合員1名/計31名  
漁獲数量：177トン、ノリ生産枚数：3155万枚



招 TAKUSUI 9 September

JF 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 (財)兵庫県水産振興基金

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 078-652-3444 FAX 078-671-6685  
URL <http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>